

日向薬師宝城坊 宝殿特別展覧会

2019年11月14日

日本三薬師の一つとして、古くから多くの信仰を集めてきた日向薬師・宝城坊は多数の文化財を有しており、市内に12件ある国指定重要文化財のうち8件がその宝殿に収められています。

今回は、文化庁の「日本博プロジェクト」の一環として、この宝殿を会場に11月15日から12月14日までの1か月間行われる展覧会で、日頃は入口に2本の蛍光灯しかなく非常に薄暗い宝殿の内部を、ライトアップによって仏像群の魅力を引き立て、神秘的な空間を演出している点と、インバウンドのお客様向けにも英語のパンフレット・パネルを刷新した点が大きな見どころです。また、展覧会期間中は英語対応可能な解説員も配置します。

今日は報道機関向けの内覧会にお邪魔して、特別に撮影させていただきました。



平成28年に350年ぶりの大修繕を終えた日向薬師の本堂です。

8間堂という巨大な木造建築物は県内にも類を見ません。こんな辺鄙な山中にあるのが不思議です。



日向薬師の保有する文化財を火災から守るために、昭和50年に建設された宝殿です。

古い建築なので空調はおろか照明も満足に完備されていません。



今回の展覧会でライトアップされた室内です。

館内4か所のスポットと背後のからの LED 照明で、こんなに明るくなりました。



残念ながら秘仏の鉦彫り薬師三尊像は未公開ですが、本尊を守る四天王と従う十二神将は、その鍛えられた体躯や顔の色の着色もはっきりわかります。



立ち姿なら1丈6尺(約 4.85m)もあるという巨大な丈六像である木造薬師如来座像と両脇の日光、月光菩薩像も、人々を病から救うという優美なお姿がライトに映えます。



同じく丈六像の阿弥陀如来坐像は、南無阿弥陀仏と一心に唱えた善男善女を極楽浄土へ導くというご利益が窺える尊いお姿です。

残念なことに光背は天井につかえるために取り外されています。

※宝殿の館内は写真撮影が禁じられておりますのでご了承ください。